

社会福祉法人津山福祉会

「くるみん」認定を取得！

計画期間中の取組の概要

- ・計画期間：令和5年4月1日～令和7年3月31日
- ・業種：高齢者介護
- ・常時雇用する労働者数：男性14人、女性：72人 計：86人（令和7年9月現在）
- ・育児休業取得率：男性100%、女性100%

＜計画目標＞

- ① 当法人が行っている両立支援制度のパンフレットを作成して職員に配布し、制度の周知を図る
子育て中の職員をメンバーとした両立支援委員会を設置し、独自パンフレットを作成して周知を行う。
社内独自制度（子どもスタッフ・おもちゃ図書館）を周知し、実際に制度を利用した職員の声を掲載するなど制度利用を促した。
- ② 地域の子育て支援団体と協働して、産休、育休中の職員と職場のつながりが保てる取り組みをすすめます
出産予定従業員に対し、地域子育て支援団体会員の助産師（マイ助産師）による相談助言を実施。地域子育て支援団体との共催事業（ワークショップ・ヨガ等）を実施。

「くるみん」認定に向けた取組のきっかけ

介護人材の確保と定着は法人経営における最重要課題となっていました。「採用できても定着しない」「子育て期に離職してしまう」という現場の課題を受け、働き続けられる職場づくりが急務であると認識しました。育児休業や時短勤務といった制度は整っていたものの、制度が十分に活かされていないという課題がありました。これまで職員同士の思いやりや現場の工夫で子育てを支えてきましたがそれだけでは限界があると感じ、法人として責任をもって、仕組みとして両立支援に取り組む必要性を感じるようになりました。

津山福祉会は、介護人材の確保、定着という課題に正面から向き合い、子育てと仕事の両立を法人の仕組みで支えるため、その姿勢を社会に示す指標として、くるみん認定取得に取り組み始めました。

認定マークの活用方法

採用パンフレット、求人票、広報誌、ホームページ等に掲載・掲示板やインターネットを通じた職員および家族への発信・新人研修や管理職研修において、取得の背景や意義を共有・見学、実習、視察対応時の説明材料として活用

これから認定を目指す企業へのエール

くるみん認定への挑戦は「特別なことをする」ではありません。日々の現場で感じている「このままでいいのだろうか」「もっと働き続けられる職場にしたい」という、素朴でまっとうな問いに向き合うことから始まります。

私たちも決して完璧な法人ではありません。試行錯誤を重ね、ときには立ち止まりながら、現場と対話を続けてきました。

くるみん認定はゴールではなく、人を大切にする経営を継続していくための一つの「通過点」です。同じ現場に立つ仲間として、これから一步を踏み出そうとする皆様を、心から応援しています。

令和7年12月8日（月）に、
認定通知書交付式を行いました！

